

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2024.3

vol.  
**68**

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

2024.3  
vol. 68

巻頭インタビュー

## 美しい富士山を後世に残すため、 お客さまとともに富士山の環境保全活動に 取り組んでいます

マックスバリュ東海株式会社

富士山エコレンジャーになるには  
富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策  
根原県有地の草原性植生保全  
富士山みがきあげ作戦

令和5年度富士山ごみ減量大作戦  
ふじのくに生物多様性地域戦略推進  
パートナーシップ制度

Welcome



Join Us

# 「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費  
年会費  
無料

特典

- 「ふじさんネットワーク」の冊子が届きます
- イベント情報をいち早く入手できます
- シンボルマークが使えます

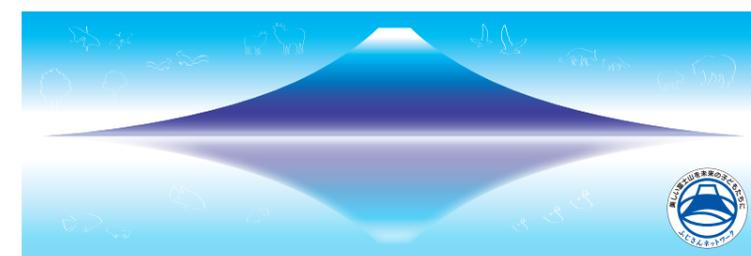


「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

寄付していただいた方に  
**オリジナル記念品**  
を差し上げています

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、記念品を差し上げています。



**NEW** 新寄付記念品 手ぬぐい「鏡富士」  
■サイズ: (約) 35cm×90cm ■綿100% ■1口: 1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。  
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で  
文字はゴールドのピンバッジです。

**SAVE Mt.FUJI**

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



**花シリーズ**

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上



**富士山の雲シリーズ**

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上



直接受取希望：ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。

寄付をいただいて、同時に記念品をお渡しします。(TEL 054-221-3498)

送付希望：QRコードを読み込み、HPの寄付専用申込フォームにて申請してください。もしくは、郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数  
振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができれば、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2024年3月 vol.68

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
- (特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 565団体・個人(令和6年2月29日現在)

※本書の作成には、マックスバリュ東海株式会社からの寄付金が使われています。



美しい富士山を後世に残すため、

お客さまとともに富士山の環境保全活動に

取り組んでいます



レジに設置しているSmart募金®カード

当社では長年にわたって地域のお客さまやお取引先さまと連携

### 富士山環境保全活動 支援募金の実施

今回は、ふじさんネットワークの監事に就任していただいている、マックスバリュ東海株式会社のインタビューを掲載します。  
マックスバリュ東海株式会社からは、ふじさんネットワーク以外にも、静岡県や山梨県等に毎年多額の寄付をいただいています。  
広報・IR・社会貢献グループの御担当者様に、富士山の環境保全活動に対する取組みや、イオングループ全体の地域貢献活動についてお話をうかがいました。

### 「富士山ありがとう」 キャンペーン

「富士山ありがとう」キャンペーンとは、地産地消の推進及び富士山にゆかりのある商品の販売を通じて地域の活性化を図るとともに、富士山の美化・環境保全活動を応援する取組みです。2011年

して富士山を後世に引き継ぐための取組みを実施しています。店舗では、年間を通してさまざまな店頭募金活動を実施しており、その募金活動の一つに「富士山環境保全活動支援募金」がございます。2023年6月に富士山が世界文化遺産に登録されて10年を迎えたことを記念し、従来募金を実施していた静岡県や山梨県、神奈川県等の店舗のみならず、愛知県や三重県等の店舗でも募金活動を実施しました。御参考までにふじさんネットワークの寄付金の活用事例としては、このふじさんネットワーク情報誌の制作・配布や、外来植物除去作業を行う時に着用するビブス、のぼり旗の作成等、富士山周辺地域の自然環境を保全する活動の推進に使っていただきました。

## 巻頭インタビュー



マックスバリュ東海株式会社

マックスバリュ東海株式会社

会社概要:静岡、神奈川、山梨、愛知、三重、岐阜、滋賀で食料品を中心としたスーパーマーケットを運営。

## Interview

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2024.3

vol.

68

## CONTENTS

03 [巻頭インタビュー]  
美しい富士山を後世に残すため、  
お客さまとともに富士山の環境保全活動に  
取り組んでいます

マックスバリュ東海株式会社

05 富士山エコレンジャーになるには  
富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策

06 根原県有地の草原性植生保全  
富士山みがきあげ作戦

07 令和5年度富士山ごみ減量大作戦  
ふじのくに生物多様性地域戦略推進  
パートナーシップ制度

08 「ふじさんネットワーク」  
会員募集中!

表紙の写真



富士山と茶畑

出典「Photo AC」

## 富士山憲章 (行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

当キャンペーンの対象商品売場には、このPOPがついています。



2月23日の「富士山の日」にあわせてスタートし、静岡県に生産拠点をもちお取引先さまや地元生産者さまの御理解と多大なる御支援のもと、同キャンペーンの売上の一部を静岡県へ贈呈してまいりました。2022年度は、当キャンペーンの売上の一部500万円を静岡県へ贈呈いたしました。寄付金は、富士山とその周辺地域の美化・環境保全に活用いただいております。2023年6月にはマックスバリュ沼津南店で「富士山ありがとう」キャンペーン商品の特設売場の展開や、キャンペーン対象商品を使ったレシピの提案等、当キャンペーンにかかわるイベントを実施しました。イベントに合わせ、静岡県副知事に御来店いただき、当キャンペーン特設売場や、静岡県の富士山環境保全にかかわる特設コーナー等を御視察いただきました。

### しずおか富士山 WAONでも

2022年度にお客さまに御利用いただいた「しずおか富士山WAON」の御利用金額の0.1%にあたる12,741,176円を、イオングループのイオンリテール株式会社東海カンパニーと合同で静岡県の「静岡県富士山後世継承基金」に贈呈いたしました。イオングループでは、イオンの電子マネーを通じて地元静岡県の振興に役立てていただきたい思いから、「しずおか富士山WAON」カードを発行しております。寄付金は、葛飾北斎の『富嶽三十六景』を題材にした授

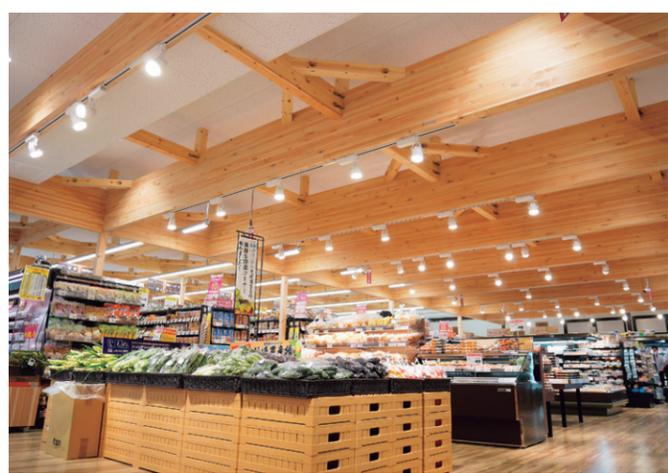


しずおか富士山WAON

業プログラム等、富士山を後世へ継承する取組みに役立てられております。今後もお客さまとともに継続して当取組みを実施してまいります。

### CO2削減のために。新規木造建築店舗の開発

当社の新規店舗でも新しい取組みが始まっております。2023年7月にオープンしたマックスバリュエクスプレス小山須走店は富士山



マックスバリュエクスプレス小山須走店の店内

の須走口の近くに位置しております。当店は富士山の景観に配慮し、当社として初の木造平屋建て店舗としてオープンしました。木のぬくもりを感じていただける店内で、気持ちよくお買物をしていただけ空間をご提供しております。

### これから地域のお客さまとともに

当社はこれまで、店舗運営を通じ、募金活動や「富士山ありがとう」

キャンペーン、しずおか富士山WAONの寄付等、富士山にかかわる環境保全活動の支援を行ってまいりました。これらの活動は継続して行っていることに価値があると思います。当社はこれからも、未来の子どもたちに、美しい富士山を後世に残すため、お客さまとともに富士山の環境保全活動へ継続的に取り組んでまいります。



2023年6月に開催した「富士山ありがとう」キャンペーン寄付金贈呈式

マックスバリュ東海 公式ウェブサイト<https://www.mv-tokai.co.jp/>



## 富士山エコレンジャーになるには

富士山エコレンジャーは、富士山の環境保全のために活動するボランティアで、富士山を訪れる方に対してマナー啓発や自然の解説をするのが主な役割の方々です。富士山エコサポーターは富士山エコレンジャーを補佐する立場で活動する方々です。

現在、富士山エコレンジャー連絡会には、富士山エコレンジャー12名、富士山エコサポーター11名の23名が登録されており、それぞれ都合や体力に合わせて現地へ活動していただいております。連絡会の会員が集まって活動する日も決めていて、顔合わせや情報交換ができるため、経験が長い方から経験が浅い方に知見の伝達をする機会になっていきます。会員同士で協力して活動している結果、富士山周辺で年間延べ100日近く活動しています。

富士山エコレンジャーになるまでの流れは、①ふじさんネットワーク正会員からの推薦を受けて富士山エコサポーターになる。②富士山エコサポーターが、富士山エコレンジャー養成研修の必要科目数を受講する。③レポートを提出する。という段階があり、①〜③を経て登録されます。

富士山エコレンジャー養成研修は、自然や文化に関する科目、行政の施策に関する科目、登山の安全に関する科目等の全15科目が設定されています。



富士山エコレンジャー養成研修「環境省施策」



富士山エコレンジャー養成研修「討論発表」

必修を含めて10科目以上受講すると、富士山エコレンジャーに登録可能です。2年で全科目を受講できるように研修の計画を立てていて、令和5年度は8科目を実施しました。

前述のように、富士山エコレンジャー連絡会の現在の会員数は23名です。会員数が増えて活動が活発になれば、マナーの呼びかけによるごみの減少、山小屋トイレの適切な利用につながります。また、自然の貴重さが分かっていく方から解説を聞くことで、自然を大切にしようとする来訪者が増えることにつながり、富士山の環境が守られます。

ふじさんネットワーク正会員の皆様には、富士山の環境保全のために活動するボランティアの増加と活動の活性化のために、積極的に富士山エコサポーターの推薦をしていただきますよう、お願いいたします。

## NEWS × COLUMN × REPORT



## 富士山のごみ持ち帰り マナー向上対策

富士山は新型コロナウイルス感染症の流行によって令和2年は開山せず、令和3年、4年は制限を伴う開山だったため、令和5年は4年振りに制限の無い開山となりました。多くの方が富士山を訪れ、八合目のカウターの記録では、令和元年の約23万人と近い水準の約22万人だったと発表されました。

多くの山がそうであるように、富士山にもごみ箱が設置されていません。山小屋でもごみは回収していませんので、自分で持ち帰るのが基本的なルールです。準備段階でなるべくごみが出ないようにバックキングし、持ち帰り用のごみ袋を用意して富士山に来ていただくことがまず第一です。

富士宮口や御殿場口は五合目から山頂まで遮蔽物がほとんど無く、登山道沿いで

ごみをポイ捨てする人は少ないですが、須走口はしばらく樹林帯を歩くため、隠れて捨てる人がいて悩みの種となっています。また、山小屋のトイレ等の死角となる場所に捨てられるごみや、弾丸登山者等が夜を過ごした場所で捨てられるごみへの対応も、関係者の負担となっています。いずれも、人目につきにくい状況で起こることなので、誰も見ていなくても捨てない、というマナーの向上が解決策となります。



御殿場口での呼びかけ



御殿場口での呼びかけ

令和5年の開山期も、行政等による、富士登山の準備やマナーに関する情報提供が行われ、自然保護課のごみ持ち帰りマナー向上対策事業でも、インターネット等による事前情報の発信と、現地での呼びかけ、ごみ袋の配布を行いました。一定の成果はあげていますが、情報入手の手段が多様化している時代背景もあり、多くの国から訪れる外国人も含めたすべての方に伝えて、準備をして来てもらうことは難しいのが実情です。

今夏も、開山前から事前情報の発信等のマナー向上のための取組を行う予定なので、皆様も情報の共有・拡散に御協力をお願いいたします。



## 根原県有地の草原性植生保全

かつて、人の生活に茅が使用されていた時代には、富士山麓の広大な面積が草原として管理されていましたが、資源利用の変化や離農によって徐々に人の手が入らなくなり、草原から森林に変化する所が増加して、草原環境の希少性が増してきています。蝶類や鳥類の愛好家の方から、草原が減少することに伴い、姿を見る機会が減少したり、見られなくなる種がいるという話を聞くと、多様な生物が生きていける環境を残さなければ、ということと、残すことの難しさを感じます。

今年度は、過去の調査の実績を参考に、6月に、地上20cm程度を残して草を刈る区域を作りしました。数を調べておらず目視した限りではありませんが、夏から秋に花を咲かせる植物が多く見られたような気がしました。来年度以降も、一律同じ刈り方をするのではなく、場所によって草の刈り方に変化を付けて、どのような結果になるかを見ていきたいと思っています。

近年、根原県有地では、常葉大学社会環境学部のゼミ合同実習を受け入れて、大学生の皆様が草刈り等をしていただいております。令和5年度は、自然保護課主催の、ボランティアに現地での草刈り等の体験していただく



講師から参加者への草原環境の説明



大鎌を使った草刈り

富士山草原性植生保全活動体験と、ゼミ合同実習を合わせて開催しました。富士山自然の森づくりの皆様には、草刈りと外来種のキクイモ除去の作業指導をしていただきました。セミナーでは社会環境学部の浅見教授、浅見教授の研究室OBで、しずおかF・N植生研究会の増田氏、浅見教授の研究室の学生の皆さんを講師に、植物の調査や観察を行いました。草を刈って心地良い汗を流し、根原の地形の特色や草原の植生について学び、掘り返したキクイモを希望者は有効活用して、得るものが多かった1日になったのではないかと思います。今後、ボランティアを募集して草原の植生保全について体験しながら知っていただく機会を設けるので、募集を目にした方は是非御参加ください。



## 令和5年度富士山ごみ減量大作戦

令和5年度の富士山ごみ減量大作戦の第3回目を、令和6年2月24日(土)に富士宮市で開催しました。ふじさんネットワーク、静岡県富士宮市、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会及び株式会社三井エンタープライズが共催で実施しました。



拾ったごみの運搬

降雨等で開催の可否が心配されましたが、当日は富士山頂が見られる晴天で、ボランティア参加者38名が参加し、富士山環境交流プラザ、村山浅間神社周辺の道路(国道469号)沿いを3班に分かれて清掃しました。



道路沿いのごみ拾い

のごみを回収しました。今回拾ったごみの中では、空き缶やペットボトルが目につきました。参加者の皆様からは、「こんなにごみが落ちているとは思わなかった」や、「富士山の環境に興味があった。実際に清掃活動ができる気持ちが良い」といった感想をいただきました。参加してくださった皆様、誠にありがとうございました。また、今回は募集定員を超える申込があり、一部参加をお断りした方もいらっしゃいます。申し訳ございませんでした。令和6年度も富士市(6月)、裾野市(10月)、富士宮市(2月)で実施を予定しております。開催日が決定したら参加者の募集を行いますので、参加申込みいただけますと幸いです。

## NEWS × COLUMN × REPORT



## 富士山みがきあげ作戦

富士山みがきあげ作戦とは、富士山のすそ野の4市1町(富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町)内の富士山五合目以下の道路等で、皆様が自主的に実施する清掃活動に対して、ふじさんネットワークが申請を受けて認定する活動です。



公益財団法人富士社会教育センター提供

富士山を眺めることのできる地域のビューポイントや道路等も対象としております。ふじさんネットワーク会員であることと有無は問わず、どなたでも申請していただいで結構です。

認定された活動は、ふじさんネットワークで参加者の傷害保険に加入します。また、



森永乳業株式会社 富士工場提供

希望があれば活動資材(腕章、のぼり旗)を貸与します。令和5年度は、6団体、178人に参加していただいております。キンディステイラー株式会社様や森永乳業株式会社富士工場様等の企業や、公益財団法人富士社会教育センター様が年に数回程度実施していただいております。各団体の活動の様子は、ふじさんネットワークのホームページなどに掲載させていただきます。是非御覧ください。また、皆様の御参加もお待ちしております。



## ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナーシップ制度

県では、令和5年3月に改訂した「ふじのくに生物多様性地域戦略」に基づき、希少野生動物植物の保護や外来生物除去等の持続可能な環境保全活動を推進しています。

近年、多くの環境保全団体は、環境保全活動への参加者の減少・固定化や、会員の高齢化、資金不足などから、思うように活動ができないという現状があります。

一方、企業等は、株主やお客様から環境に配慮、貢献した活動が求められており、企業価値の向上や、他社との差別化等を図る必要があると伺っています。

こうしたことから、両者を県がマッチングし、持続可能な環境保全活動を推進する「ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナーシップ制度」を昨年8月に制定し、登録者を募集しています。

登録された企業等・環境保全団体がマッチングし、持続可能な環境保全活動につなげて参ります。

昨年10月17日に、本制度に基づく協定第1号を、環境保全団体である舞阪の自然を守る会・浜松市中央区、須山建設株式会社(浜松市中央区)、県の3者で締結し、同月29日に協定締結後初の活動を、浜名湖のいかり瀬で行いました。協定締結者はこちらのこと、多くの地



協定締結第1号 作業後集合写真(いかり瀬)



研修会の様子

元の高中生や一般の方にも参加いただき、近年では最多の外来植物除去量となりました。昨年11月には、本制度の周知を図るための研修会を浜松市内と静岡市内で開催しました。研修会では、ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナーシップ制度の説明や先進的な取組を行っている他県の企業・団体の事例を紹介しました。出席いただいた企業等や環境保全団体からは、今後の取組を行うにあたって非常に参考になったとの感想をいただきました。

富士山をはじめとした県内の豊かな自然環境を保全し、生物多様性の保全を図っていくため、本制度への登録企業・環境保全団体を募集しています。御興味を持たれたふじさんネットワーク会員におかれましては、事務局(県自然保護課)までお問い合わせください。